

令和2年緑化推進運動功労者 内閣総理大臣表彰の受賞者が決定

緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰とは

緑化の推進は、国土及び環境の保全、水資源の涵養、生活環境の改善等の観点から極めて重要です。そのため、昭和58年に、国土の緑化に関し、関係行政機関相互の緊密な連携を図り、もって総合的かつ効率的な諸施策を推進することを目的として、関係府省（現 内閣府、総務省、財務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省）により緑化推進連絡会議が設置されました。

本連絡会議において、緑化運動の推進に資するため、昭和59年から毎年、緑化活動の推進や、緑化思想の普及啓発について顕著な功績のあった個人又は団体に対し、緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を実施しています。

令和2年の受賞者について

37回目となる今年の受賞者は、9ページに記載の13の個人、団体に決まりました。花きによる緑化、学校緑化、工場緑化、都市緑化、水源保全や自然環境保全の活動等、様々な緑化活動を長年推進された功労者を選ばれておりますが、ここでは、森林に関する緑化活動に功績のあった受賞者の方を中心に紹介させていただきます。これを機会に、「緑化」の大切さに改めて思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。

● あさの たかお 浅野 貴男 さん

長年にわたり緑の少年団の結成や育成を通じた青少年の育成に尽力するとともに、東日本大震災からの海岸防災林の再生の一端を担うなど、地域や県全体の緑化推進への貢献が評価されました。

● たに としふみ 谷 敏文 さん

夫婦の自家労働力を基本とした専業林家として60年以上にわたり森林整備や林間栽培を行うとともに技術普及にも取り組み、また、地域学生への環境教育などへの尽力が評価されました。

● しりつたびとちゅうがっこう いわき市立田人中学校

昭和33年から地元住民協力のもと生徒自ら学校林の整備を行ってきましたが、東日本大震災による中断を乗り越えて活動を継続するとともに、地域住民と連携した学校林活動を通じて地域内外の交流を行い、地域の担い手としての人材を育成する活動が評価されました。

● とくていひえいりかつどうほうじんどうしすいげんりん かい 特定非営利活動法人道志水源林ボランティアの会

横浜市の重要な水源である道志川を守るため、水源林において間伐等の森林保全活動を行うとともに、イベントや小学校への出前教室を通じた普及啓発活動への取組や、森林インストラクター講習への参加等による活動の持続化が評価されました。

● き そ こういきれんごう
木曾広域連合

「水と緑のふるさとづくり」をテーマに、木曾川下流域の愛知県内の自治体等との協定締結による森林整備や交流事業を展開することにより、森林づくりに貢献する活動が評価されました。

● いのち プロジェクト がくせいじっこういんかい
命をつなぐPROJECT 学生実行委員会

企業緑地を地域本来の自然に再生するため、学生視点で提案した生態系保全等の取組を企業とともに実施するとともに、地域住民等へ生物多様性や生態系ネットワークの重要性を配信する活動が評価されました。

※各受賞者の功績概要、過去の受賞者については、以下のホームページに掲載しています。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/sanson_ryokka/hyosyo/index.html



令和 2 年受賞者

個人

あさの たかお
浅野 貴男
あまの かずゆき
天野 和幸
たに としふみ
谷 敏文
宮城県仙台市
静岡県浜松市
徳島県美馬市
(敬称略)

団体

みやこしりつきがくしょうがっこう
宮古市立亀岳小学校
みやぎけんりつしえんがっこうこたこうとうがくえん
宮城県立支援学校小牛田高等学園
しりつたびとちゅうがっこう
いわき市立田人中学校
ゆめさきびと
夢咲人
しほな うんどうすいしんかい
さいたま市花いっぱい運動推進会
とくていひえいりかつどうほうじんどうしすいげんりん
特定非営利活動法人道志水源林ボランティアの会
きそこういきれんごう
木曾広域連合
いのち プロジェクト がくせいじっこういんかい
命をつなぐPROJECT 学生実行委員会
きらがわはな みどり かい
吉良川花と緑の会
かぶしきがいしゃ こうじょう
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 えびの工場
岩手県宮古市
宮城県遠田郡美里町
福島県いわき市
栃木県下都賀郡壬生町
埼玉県さいたま市
神奈川県横浜市
長野県木曾郡木曾町
愛知県名古屋市長
高知県室戸市
宮崎県えびの市



昨年の授賞式（第13回みどりの式典）の様子